

輪島市黒島地区復興まちづくりコンペ

～募集要項～

平成 20 年 7 月

輪島市黒島地区復興まちづくりコンペ実行委員会

1 コンペの趣旨

平成19年3月25日午前9時42分、輪島市門前町の西方沖を震源とする能登半島地震が発生し、黒島地区をはじめとする輪島市各地でも大きな被害を受けました。

地震から15ヶ月が経過した現在の被災地は、住宅再建のモデルとなる「能登ふるさと住宅」が完成し、また、各地区に「住まい・まちづくり協議会」が結成され、地域住民自ら地域の再建に向けた活動を開始するなど、復旧から復興へ向けた動きが本格化しています。

しかし、いずれの地区も過疎化、高齢化が大変深刻で、また産業が停滞ぎみであることなど、今後、地域が沈滞し、復興が遅れることが心配されています。

このような時期に当たり、地震による被害が最も大きかった地区のひとつである「黒島地区」をモデル地区として、広く復興まちづくりに関するアイデアを募集します。

黒島地区では、被災直後、「黒島地区まちづくり協議会」が組織され、本格的な復興に向けた議論を重ね、具体的な計画の検討を行っています。特に、北前船の船主集落として発達した歴史や、能登地方でも有数の町並みをどのように活用するかが大きな焦点となっています。

今回提案していただくのは、地区全体のまちづくり計画に関するアイデアと、地区の核となっている文化財建造物の活用に関するアイデアの2部門です。

第1部門として、伝統的な町並みを有し、伝統的建造物群保存地区指定を目指しているものの、震災で大きな被害を受けた黒島地区全体を対象として、その地区復興計画の策定に関するまちづくりのアイデアを募集するものです。

第2部門として、黒島地区の歴史や町並みの核であり、復興計画の拠点となる石川県指定文化財旧角海家住宅とその周辺を対象とし、その施設整備計画や活用計画についてのアイデアを募集するものです。

輪島市や黒島地区まちづくり協議会では、皆さんから提案されたアイデアを参考とし、今年度中に復興計画をまとめる予定です。被災地復興のため、是非、素晴らしいアイデアを提案していただけるようお願いします。

2 コンペのテーマ

募集する提案は、「黒島地区の復興まちづくりアイデア部門」と「旧角海家住宅及び周辺地区の活用アイデア部門」の2部門です。同一の応募者が第1部門、第2部門の両方に提案することも可能です。

なお、提案は以下の点に配慮した内容として下さい。

第1部門：黒島地区の復興まちづくりアイデア部門

- ・ 伝統的建造物群保存地区の指定を目指している黒島地区の伝統的な町並みを活かし、今後、持続可能な復興まちづくりに資する提案であること。
- ・ 黒島地区の防災性の向上に配慮された提案であること。
- ・ 黒島地区の地形、風土、社会経済状況に即した提案であること。
- ・ 地域振興・まちづくりへの波及効果に配慮された提案であること。
- ・ 住民主体、あるいは住民参加を前提とした提案であること。

第2部門：旧角海家住宅及び周辺地区の活用アイデア部門

- ・ 石川県指定文化財・旧角海家住宅の文化財的価値を損なわない提案であること。
- ・ 提案を行う上で旧角海家住宅の主屋、土蔵等を一部改変や改修する必要がある場合には、将来的な現状復旧、文化財的価値の回復が可能であること。
- ・ 持続可能な地域振興に貢献する可能性を有した提案であること。
- ・ 著しい過疎・高齢化地域内に位置する施設として、施設の管理・運営に配慮された提案であること。

3 参加資格

- ・ 参加資格は特に問いませんが、連絡先が日本国内であることが必要です。
- ・ 参加料は無料です。ただし、提案の作成費や交通費、輸送費などの本コンペの参加に係る一切の費用は、応募者でご負担ください。

4 応募登録方法

- ・ 応募を希望する方は、エントリー申込書に必要事項（代表者および共同制作者全員の氏名、年齢、所属）と連絡先（代表住所、電話番号、メールアドレス）を記入し、輪島市都市整備課宛てにE-mailまたは郵便で送付してください。
- ・ エントリー申込書は黒島地区まちづくり協議会HP上からダウンロードできます。
- ・ エントリー終了後、実行委員会から「参加番号」をE-mailでお送りします。（E-mailでの連絡先がない場合は、郵送でお送りします。）
- ・ エントリーの〆切は平成20年9月19日（金）の午後5時（必着）とします。

5 提出物（第1部門、第2部門とも共通）

1) 提出物

- ・提案内容について、以下の～を提出してください。

A1サイズのパネル1枚（縦使い、横使いは自由。厚さ5mm程度のスチレンボード等でパネル化したもの）

上記のA3サイズ縮小版2枚（パネル化しないもの）

上記のデジタルデータが入ったCD1枚（データ形式はPDFファイル）

2) のパネルに記載すべき事項

提案内容の主旨（特に上記の「2 コンペのテーマ」に記載された事項に関して、どのように対応したもの）

提案を説明する図、写真、その他グラフィックなど（図や写真の使用枚数、種類などに制限はありません）

3) 提出物に関する注意事項

提出作品には実行委員会から割り当てる「参加番号」のみを記載してください。

（、は裏面、はCD盤本体）

提出物には提案者または団体を特定する固有名称、あるいは類推できる表現・表記は記載しないでください。

提案内容は日本語として下さい。

4) 提出方法

各部門とも、平成20年10月1日（水）～10月10日（金）の受付期間内に提出して下さい。（10日（金）の午後5時必着）

提出物は小包郵便や宅配便で、輪島市都市整備課まで提出して下さい。（持参による提出は不可とします。）

6 質疑

- ・当コンペに関する質疑があれば、「質問書」に記入し、輪島市都市整備課宛てにE-mailまたは郵便で送付してください。
- ・質問書は黒島地区まちづくり協議会HP上からダウンロードできます。
- ・質問書の受付期限は平成20年9月19日（金）の午後5時（必着）とします。
- ・質問に関する回答は、適宜黒島地区まちづくり協議会HP上で公開します。

7 参考資料

- ・ 提案のための以下の参考資料は、黒島地区まちづくり協議会HP上からダウンロードしてください。

地区概要（統計データなど）

地区現況写真（現状、震災直後など）

黒島白地図（CADデータ）

旧角海家住宅図面（CADデータ）

8 審査員

学識経験者

土屋 敦夫（滋賀県立大学教授：生活環境論・都市計画史・保存再生論）

谷 明彦（金沢工業大学教授：都市計画・地域経済・都市行政・都市デザイン）

東四柳史明（金沢学院大学教授：日本中世史・神社史）

地元

川端 一人（輪島市門前町黒島地区総区長・黒島地区まちづくり協議会会長）

黒島地区まちづくり協議会会員（会長以外で1票）

輪島市

輪島市関係者

9 賞

最優秀賞：黒島地区の復興まちづくりアイデア部門 1組 賞金10万円

旧角海家住宅及び周辺地区の活用アイデア部門 1組 賞金10万円

優秀賞：黒島地区の復興まちづくりアイデア部門 2組 賞金3万円

旧角海家住宅及び周辺地区の活用アイデア部門 2組 賞金3万円

10 全体スケジュール

エントリー期限 : 平成20年9月19日（金）

質疑書受付期限 : 平成20年9月19日（金）

作品提出受付期間 : 平成20年10月1日（水）～10月10日（金）

選考審査 : 平成20年10月中旬

表彰式 : 平成20年10月下旬

作品展示 : 表彰式終了後適宜

11 提出物の取り扱いについて

応募作品は自作の未発表のものに限ります。

応募作品の返却はいたしません。

応募作品の著作権・特許権は応募者に帰属しますが、提案内容については、今後の黒島地区および輪島市全域の復興まちづくり計画の策定、復興事業などにおいて無償で活用させていただく場合があります。(提案内容の全部または一部を改変して、活用させていただく場合も同様です)

応募作品の内容の公表・出版・展示に関する権利は主催者が無償で使用できるものとします。

応募作品は、適宜、展示や作品集などの方法により、公開(電子メディアによる公開も含む)することを予定しています。

コンペの応募者(グループの場合はその構成メンバー全員)は、コンペに応募することによって、ここに記した事項に同意したものとみなします。

12 問い合わせ先・提出先

問合せ先・提出先

輪島市都市整備課(担当:星名・宇羅)

〒928-8525 石川県輪島市二ツ屋2字29番地

電話:0768-23-1156 FAX:0768-23-1198 E-mail:toshi@city.wajima.lg.jp

応募用紙・参考資料のダウンロード先

黒島地区まちづくり協議会ホームページ

<http://www.phisnet.ne.jp/kuroshima/>

13 主催など

主催:輪島市黒島地区復興まちづくりコンペ実行委員会

(黒島地区まちづくり協議会、輪島市)

後援:石川県

< コンペ及びこの資料に関する問い合わせ先 >

輪島市都市整備課

電 話 0 7 6 8 - 2 3 - 1 1 5 6 (直 通)

メー ル toshi@city.wajima.lg.jp
